



行事予定表		
3	月	豆まき／ピヨピヨひろば
4	火	絵本の読み聞かせ(5歳児)
6	木	サロン
8	土	発表会(2歳児以上の参加)
12	水	交通安全教室
13	木	リトミック(3歳児以上)
17	月	保育参観(ひかりぐみ・ほしぐみ)
18	火	保育参観(にじぐみ・だいちぐみ)
19	水	保育参観(たいよう・そら きりんグループ)
20	木	サロン
21	金	避難訓練(通報訓練)
26	水	保育参観(たいよう・そら ぞうグループ)
27	木	誕生会

年明けからずっと暖かい日が続き花壇では、
気の早いチューリップが芽を出しフキノトウも出てきている
時折、少し寒い日もあるので
もう、春がきたのか、まだ冬なのか
草花も、さぞ戸惑っているのではないかと
それにしても、おかしな世の中になって
しまったものだ
お陰様で、いつもの年なら霜解けて
ドロドロ、グチャグチャになる園庭も
きれいになっているので
子ども達は、園庭狭しと走り廻っている
お部屋では、発表会を前に
歌、合奏、劇ごっこを
実に楽しそうにやっている
今年は、今までで一番上手だ
「何？ 去年も同じ事を言っていたって？
そつです。毎年今まで一番上手なのだ！」
発表会が終わると、すぐに卒園・進級
保育園の二月は心そわそわ
なんとなく落ち着かない



発表会が楽しみ!

来週末に発表会を控え、2歳児以上の子ども達は遊戯、歌、合奏、劇等年齢に応じた表現を楽しんでいます。大人から見ると「もう少し上手く出来るだろう。」とか、他の子と比べてしまう事もありますが、子ども達一人一人はそれぞれの楽しみ方や成長をしています。当日は沢山のお客さんの前で発表しますが、当日よりも、それまでの過程とその後が大事だということをご理解頂きたいと思えます。今の子ども達の表現一つ一つを温かい眼差しで見守って頂けると幸いです。

今月の予定から・・・

●豆まき&おにぎりデー(3日)

・昨年植えたヒイラギの葉が少し大きく成長しました。今年も「鬼を切る」の意味を含めてお昼におにぎりを食べて、心の中の鬼を退治します。

●発表会(8日)

・今年もII部制で行います。開園時間や内容など、詳細につきましては、先日の配布物をよくご覧ください。また、プログラムは、後日配布します。

●保育参観(17日・18日・19日・26日)

・今年度最後の保育参観です。お弁当デーは変則的になりますので、給食献立表をよく確認してください。詳細は後日お知らせ致しますが、ぞうグループはカレーの日の様子を見て頂く予定です。

●交通安全教室(12日)

・年間を通してシートベルト着用のご大切さを子ども達に伝えていますが、「やってない」と言う子がまだまだ居るようで残念です。大人の意識が大事ですね。

●誕生会(27日)

・今月は先生達による縄跳びや大縄を子ども達に披露する予定です。先生達も猛練習しています。乞うご期待!

☆おしらせ★お願い
☆今年度製作した子ども達の作品を入れて持ち帰る作品袋の代金90円を納入袋で徴収させて頂きます。

☆餅つきのお手伝いを役員さんや保護者の方々にして頂き大変助かりました。有難うございました。

☆R2年度の入園・進級式は

4月4日(土) 9時半〜午前中です。

在園児の親子の皆さんで新入園の皆さんを温かく迎える式です。是非ご参加下さい。なお、当日の土曜保育は行いません。

「アクティブ・ラーニング」

ラグビーワールドカップから、にわかにはラグビーが大盛況である。日本の躍進の基はエディ・ジョーンズ前監督ではないかと思う。8時間も練習している日本のラグビーを見て、「何にもならないばかりか害になる。試合を想定して、何が必要か、どうトレーニングするか、自主的・主体的にじっくり考えて練習すれば、一時間半で十分だ」と言った。選手も「コーチに言われるまま、何時間もただ苦しいだけの練習をしていると、頭がボーとあって、ただやらされていただけで、何も考えなくなる。」と言っていた。▼教育・保育でも、同じように以前からやっていたから、そのまま考えもせず、引き続いてやっていることがある。子どもに考えさせず、指示・命令と訓練が主流になっている。指示・命令どおり整然と行動していると、大人は、素晴らしい!と安心してしまう。昔、どこの園でもやっていた「トントン前」。先日、まだやっている園があったので驚いた。ピッピッと

笛を吹くと、パブロフの条件反射の如く、トントン前ならえする。先生は楽だ。「前の人と、横の人とぶつからないように」と間を空けてまっすぐに並びましょう」と言わない。子どもも先生も何も考えず、指示通りの行動をする方が楽かもしれないが、自発性・主体性は育たない。▼小・中学校で、やっとならぬアクティブ・ラーニングなどと言って、自ら課題を見つけ、自分で解決策を考え、実行していくという自主的・主体的な活動を重視するようになった。幼稚園でも、子どもが成長・発達するのは、指示・命令されたり、大人の顔色をうかがって行動する時ではなく、自分で考え、自分で決定し、その意思に従って行動し、失敗したり、他者と衝突したり、共感したりしながら、不都合を経験したり、くやしい思いをする時の方が心も頭も成長する。自分でやるのだから、意欲も忍耐力も育つ。大人は見守るだけでよい。必要な時にのみ、適切なタイミングで言葉がけをして指導する。▼最も自発的・主体的・自主的な活動は「遊び」である。隊列を整えながら、合奏するなど、高度な表現活動は、見た目は素晴らしいが、かなり厳しく指導しなければならぬ。指示・命令も多くなる。幼稚園生活の多くの時間を費やす。遊ぶ時間は削られてしまう。目に見える出来栄だけを見てみると確かに素晴らしい。しかし、子ども達が奪われたものは目に見えないから厄介である。自由な活動の中で育つ意欲や忍耐力、人と関わる力などは見えない。 理事長 浅田 精利

園便りの文章は、ホームページに「理事長の話」として連載してあります。是非、読んで下さい

